記者発表資料

平成２５年４月９日
湯沢河川国道事務所

６～７日の低気圧に伴う融雪出水に関する速報資料
～４月期として過去２０年間でもっとも高い水位を記録～

６日夜からの降雨により雪解けが進み、雄物川上流部の水位が上昇したことから、7日0時に注意体制、同日3時40分には警戒体制に移行し、危機管理対応を行っておりました。（8日20時50分に体制解除）

今回の洪水に関する速報資料を作成したので、お知らせいたします。

今回の洪水規模は、4月期としては、過去20年間でもっとも高い水位を記録（雄物川橋地点、大曲橋地点及び神宮寺地点）する洪水となりました。

山間部にはまだ積雪が残っており、気温が上がった場合や少降雨でも河川水位が上昇しますので、河川へ近づく場合には、今後も気象情報に注意願います。

※4月7日（防災情報第8報）記者発表資料の更新版です。

国土交通省湯沢河川国道事務所では、雄物川上流部および玉川など６支川、総延長 115.9km を管理しています。

■添付資料

平成２５年４月低気圧に伴う降雨
～融雪による出水概要～
《速報版》
平成２５年４月９日

■下記アドレスにも掲載しています。

※掲載ページ：　http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/

※発表記者会：横手記者会、秋田魁新報社　大曲・湯沢支局

国土交通省湯沢河川国道事務所
湯沢市関口字上寺沢６４－２
電話０１８３－７３－５５４４
技術副所長　土田（つちだ）　恒年（つねとし）（内線２０４）
調査第一課長　畑山（はたやま）　作栄（さくえい）（内線３５１）

平成25年4月9日
国土交通省
湯沢河川国道事務所

平成２５年４月低気圧に伴う降雨
～融雪による出水概要～
《速報版》

《ポイント》
●４月期としては、直近２０年間で最高水位を記録
●H２５年３月完成の兼用堤防で、鵜巣地区（羽後町）の浸水被害リスクを軽減
●H２３年６月洪水で浸水した間倉地区（大仙市）で、土のうによる緊急対策を実施
●排水ポンプ車の出動により、内水被害を軽減

速報版に付き、今後情報が変更となる可能性があります。

平成25年4月融雪出水の概要

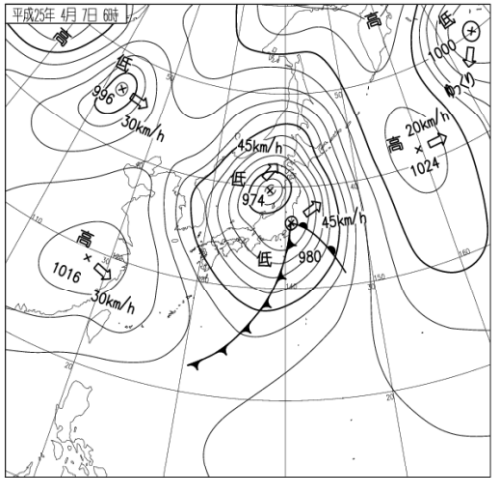
●発達中の低気圧が日本海を北東に進み、また別の前線を伴った低気圧が関東地方を東北東に進んだ。これらの発達した低気圧の影響により6日夜から7日にかけて断続的に雨が降り続いた。

●降水量は、木地山（湯沢市高松）で57mm、湯の岱（湯沢市秋の宮）で66mmを記録。※国交省雨量観測地点

●この降雨と気温の上昇により、雄物川上流域では、融雪と相まって4月期としては記録的な洪水となった。

横手　2013年4月

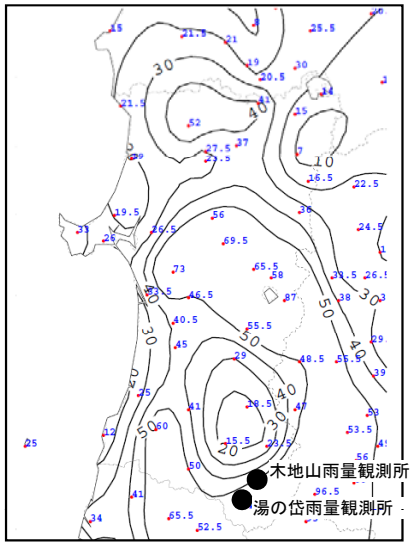
日	気温(℃)			雪(cm)	
	平均	最高	最低	降雪 合計	最深積雪 値
1	2.7	7.9	-1.5	0	41
2	5.9	15.0	-1.3	0	32
3	6.3	10.7	2.5	3	24
4	5.9	9.4	2.3	2	19
5	5.0	13.4	-2.0	4	12
6	10.3	19.5	0.3	1	5
7	10.2	15.4	2.5	0	0



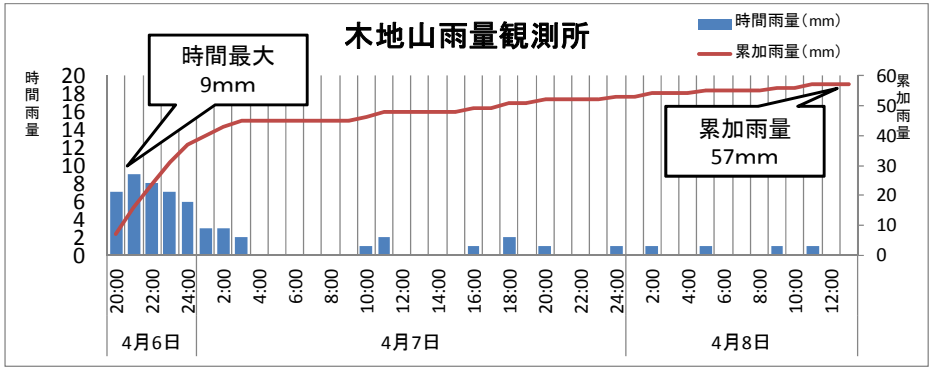
出典：秋田地方気象台HPより、一部抜粋

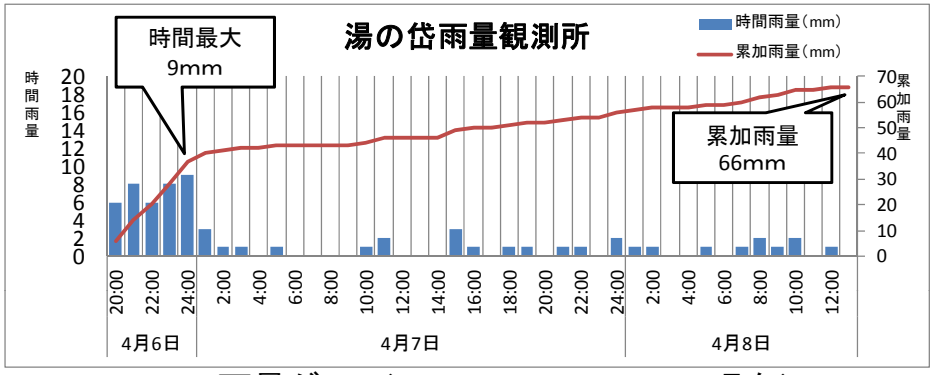
降雨概況

●秋田県内では、累加雨量50～60mm程度の降雨を記録。



等雨量線図（出典：盛岡地方気象台）
（4/6 19:00～4/8　13:00　総雨量）





雨量グラフ（4/6 20:00～4/8 13:00現在）

出典：国交省雨量観測データ

４月期としては、直近20年間で最高水位を記録

●はん濫注意水位を超えた各観測所において、4月期としては直近20年間で最高水位を記録した。



直近20年間の4月期最高水位一覧

（単位：m）

	雄物川橋	大曲橋	神宮寺
平成 5年	1.33	1.52	2.31
平成 6年	1.36	1.77	2.98
平成 7年	1.84	2.26	3.83
平成 8年	1.79	1.75	2.84
平成 9年	1.70	1.62	2.30
平成10年	1.55	1.40	2.70
平成11年	2.12	1.98	2.93
平成12年 （最高水位観測日時）	3.00 （11日6:00）	3.54 （11日11:00）	4.70 （11日11:00）
平成13年	2.17	2.20	2.95
平成14年	1.71	1.63	2.83
平成15年	1.29	1.38	2.32
平成16年	1.40	1.60	2.48
平成17年	2.19	2.91	4.21
平成18年	1.82	2.12	3.14
平成19年	1.72	1.85	2.76
平成20年	1.53	1.38	2.06
平成21年	1.34	1.49	2.41
平成22年	1.19	1.16	2.39
平成23年	2.31	2.65	3.56
平成24年	2.01	2.23	3.29
平成25年4月6～7日	3.42	4.16	5.30
（最高水位観測日時）	（7日6:20）	（7日11:00）	（7日12:40）

※赤文字は、直近20カ年の最高水位。

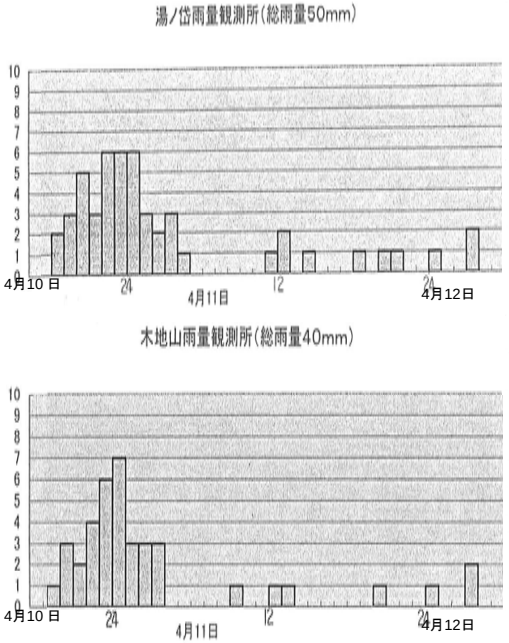
※平成24年・平成25年の水位は、暫定値。

出典：国交省水位観測データ

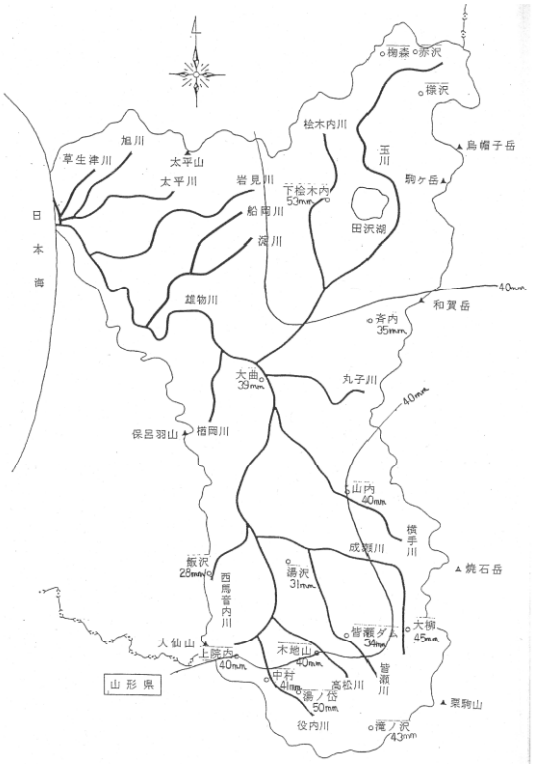
参考：平成12年4月出水の概要

●4月10日移動性高気圧の中心は、本州東海上に抜け、日本列島は南北に延びる大きな気圧の谷に入り、同日夕方、低気圧が四国沖と日本海中部に進み、発達しながら東北東に進み、秋田県では南東の風が強く気温が上昇。

この低気圧の影響で、県内は気温が上昇するとともに、11日朝にかけ断続的に雨が降り続いた。

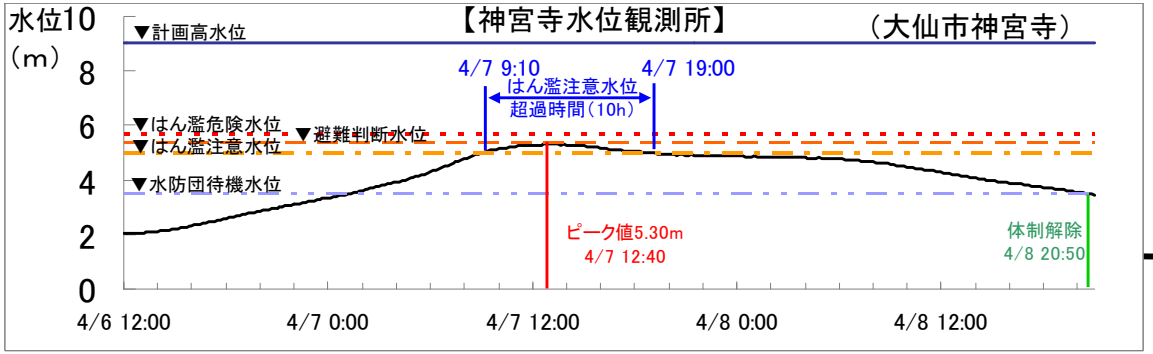


出典：洪水資料
（湯沢河川国道事務所）

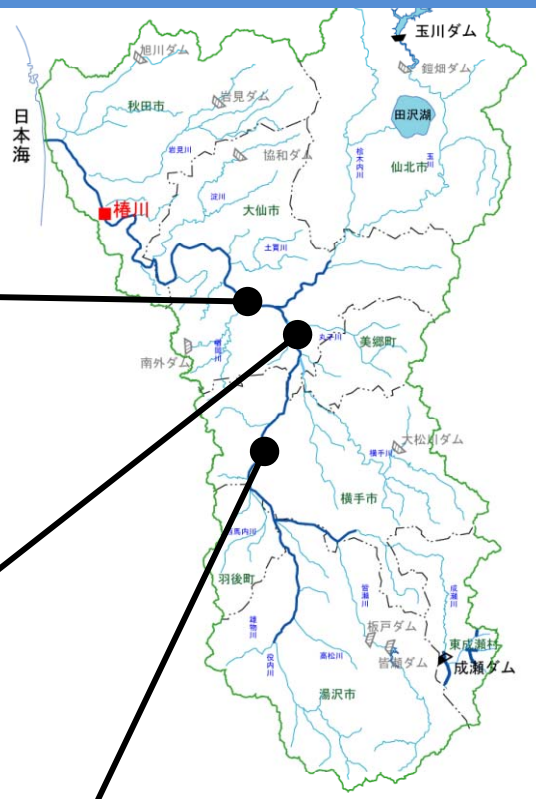


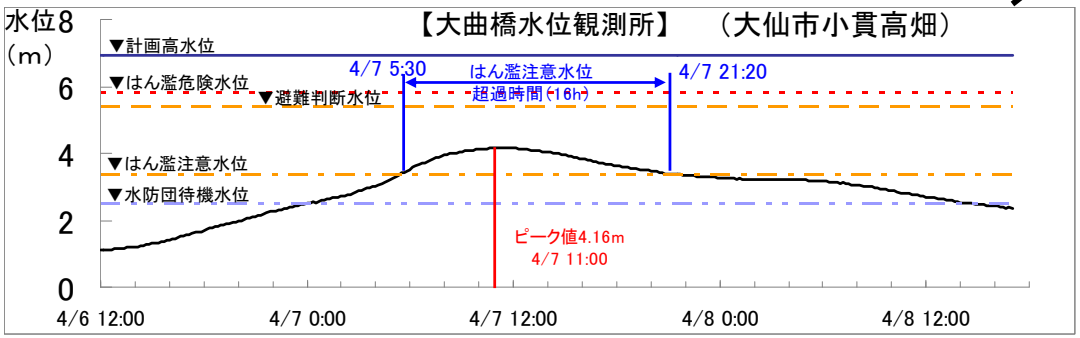
等雨量線図（総雨量）

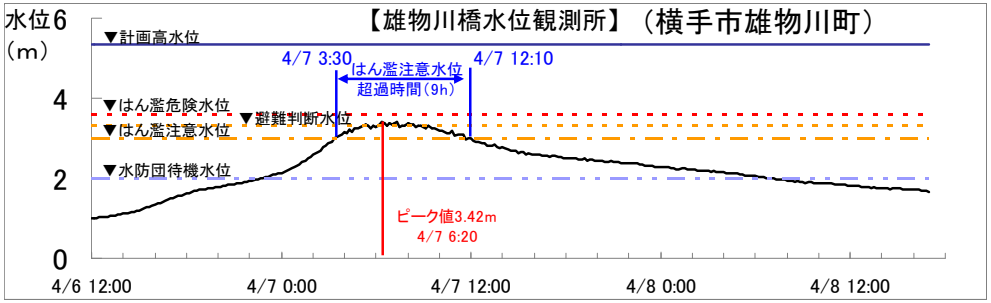
融雪出水の状況（各観測所においてはん濫注意水位を超過）







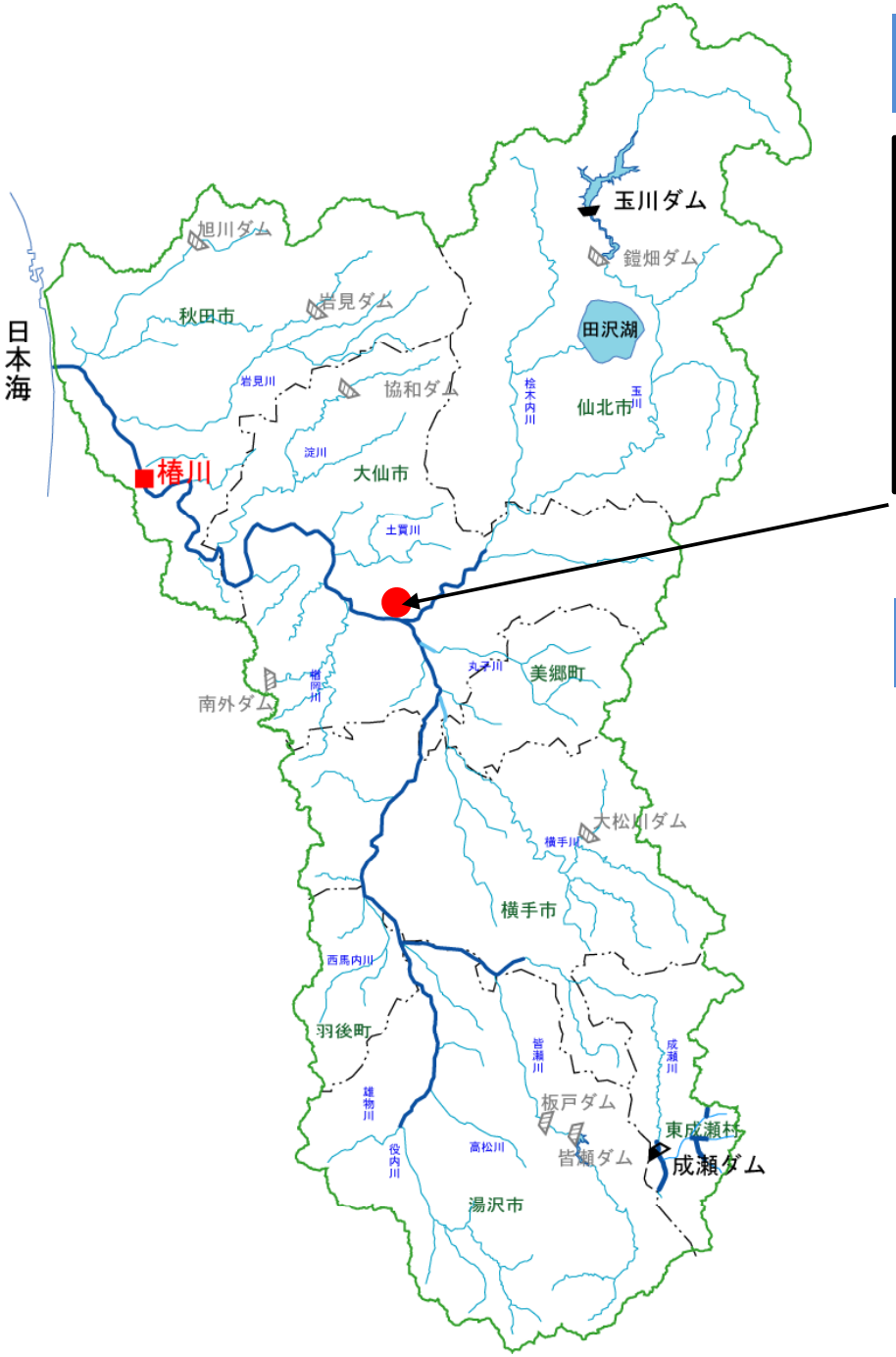








浸水被害軽減対策と効果①



大仙市間倉地区

大型土のうによる緊急対策



堤防の無い間倉地区において、大型土のうを設置し、浸水被害の未然防止対策を行った。

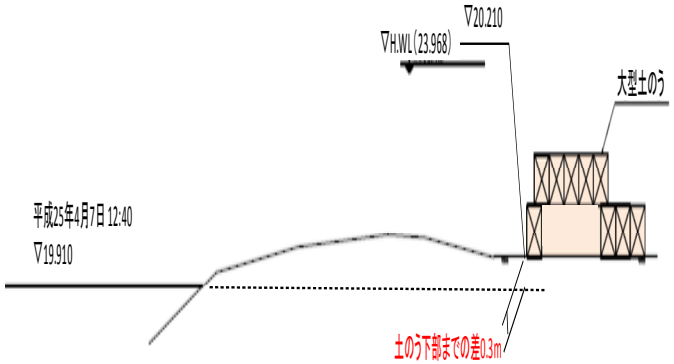


大型土のう126袋（延長約50m）を設置
（4月7日10時10分 設置完了）

緊急対策による効果

●本出水の水位が土のう下部まであと30cmに迫りましたが、幸い、心配された浸水被害の発生はありませんでした。

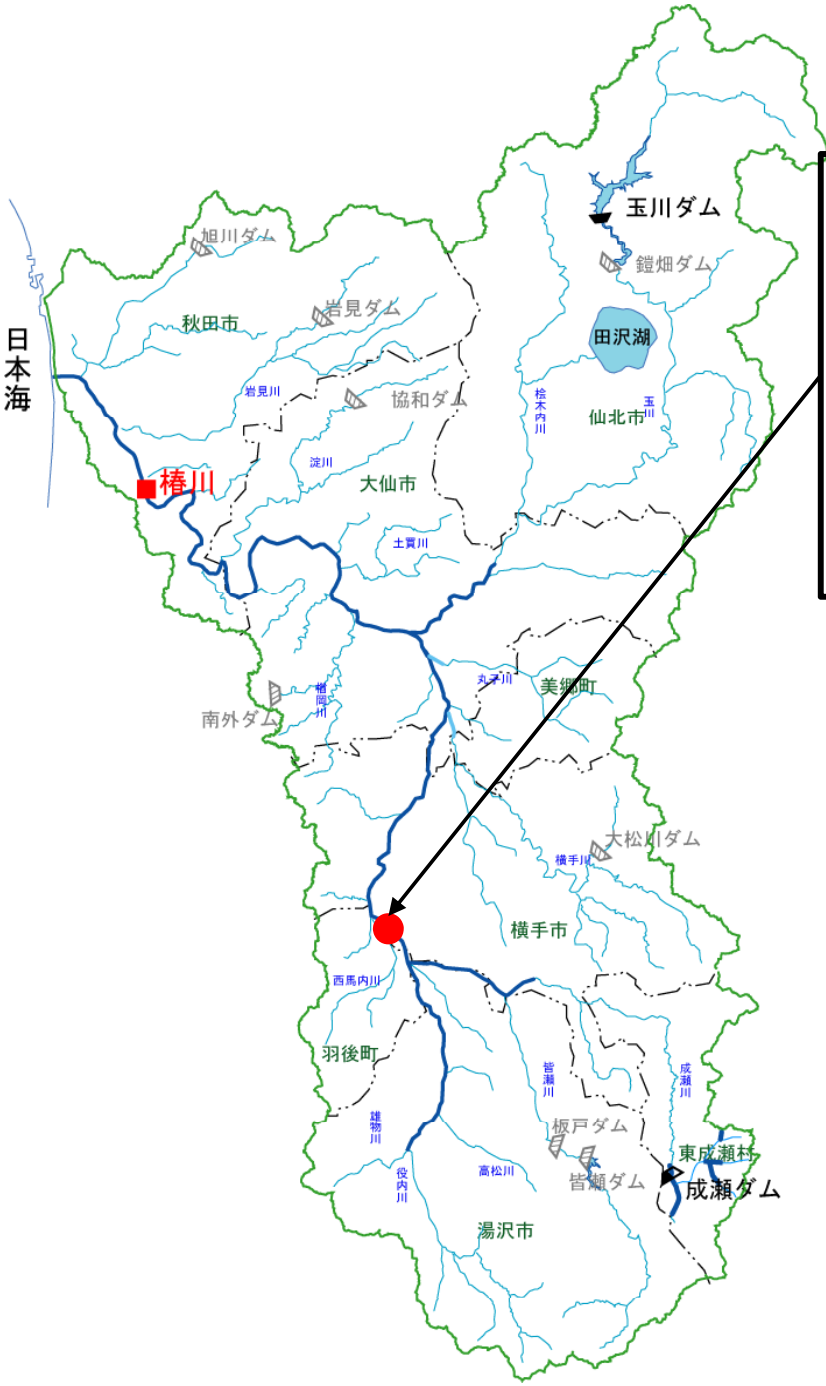
●これからの梅雨期、台風期の洪水に対しても万全を期して参ります。



※水位は近傍観測所からの推定水位
※断面図は、河口から約60k付近

出典：湯沢河川国道事務所調べ

浸水被害軽減対策と効果②



羽後町鵜巣地区

H25.3に完成した兼用堤防

兼用堤防の完成により浸水被害リスクを軽減

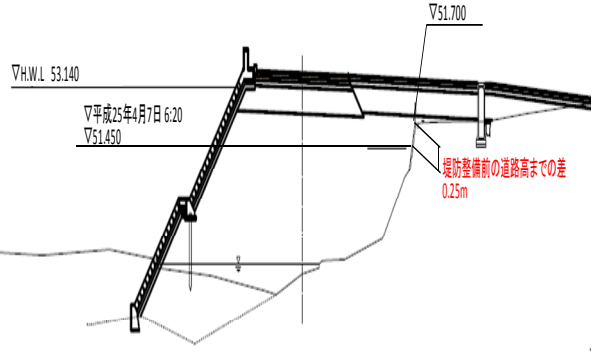




兼用堤防完成による効果

●本出水の水位が堤防整備前の道路高まであと25cmに迫りました。

●堤防整備により、浸水被害リスクが大幅に軽減されました。

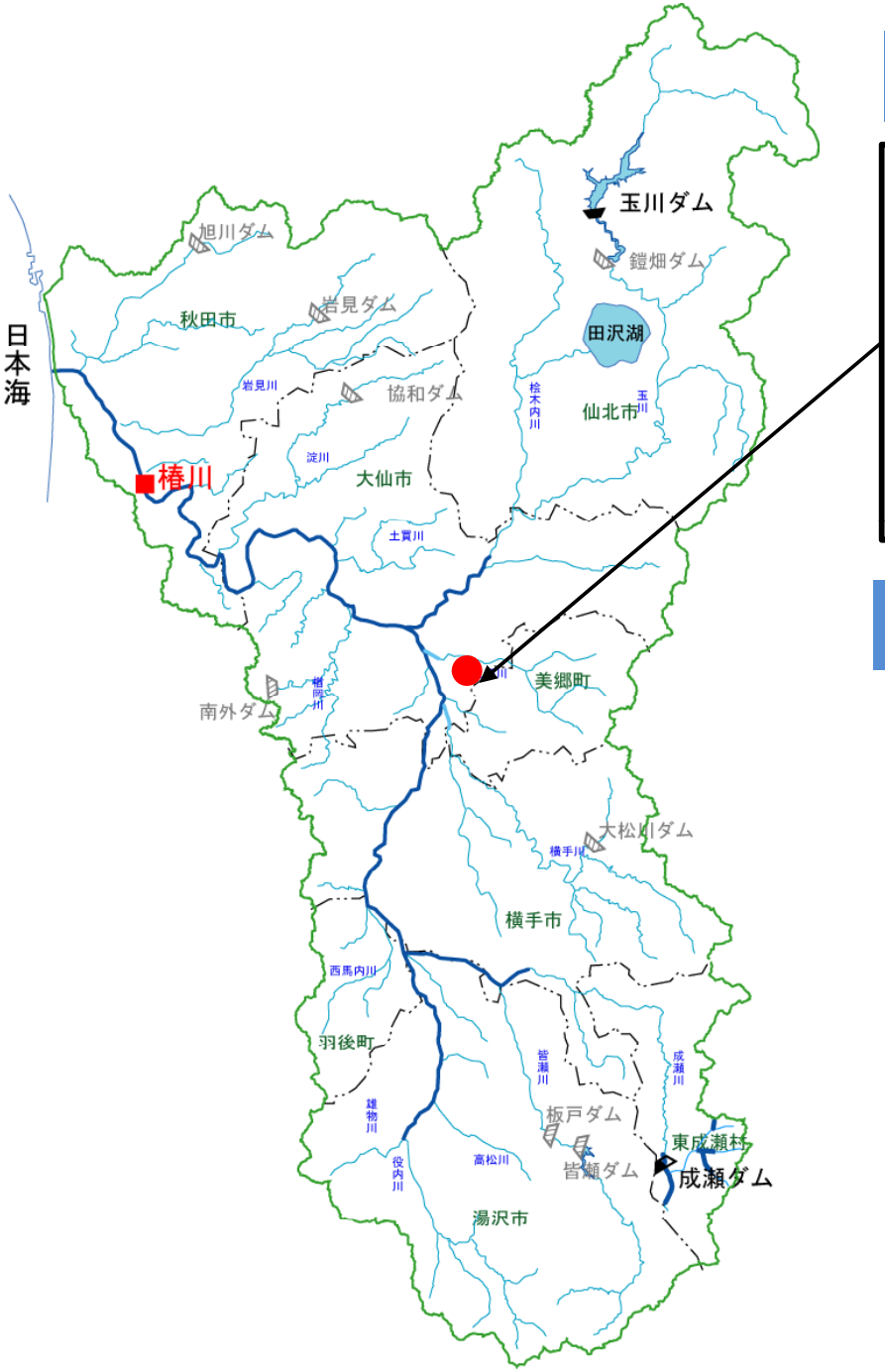


※水位は痕跡調査による
※断面図は、河口から約89k付近

出典：湯沢河川国道事務所調べ

●地域の声（鵜巣地区 元集落総代　藤原さん）
「堤防が完成して、今回の雄物川の出水くらいでは、以前にくらべても、おおきな安心感があり、ゆっくり休んでいられた。」

浸水被害軽減対策と効果③

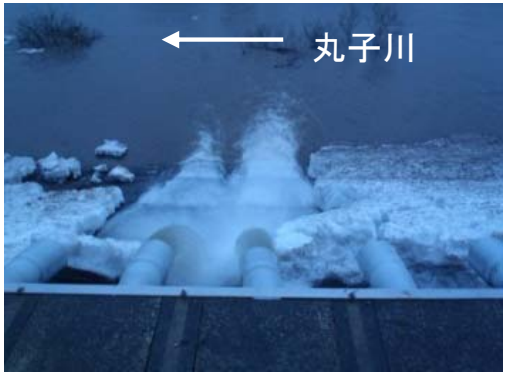


大仙市大曲浜町地区

排水ﾎﾟﾝﾌﾟ車による排水活動

内水（宅地側にたまった水）を丸子川へ排水





（撮影日：7日）

排水活動による効果

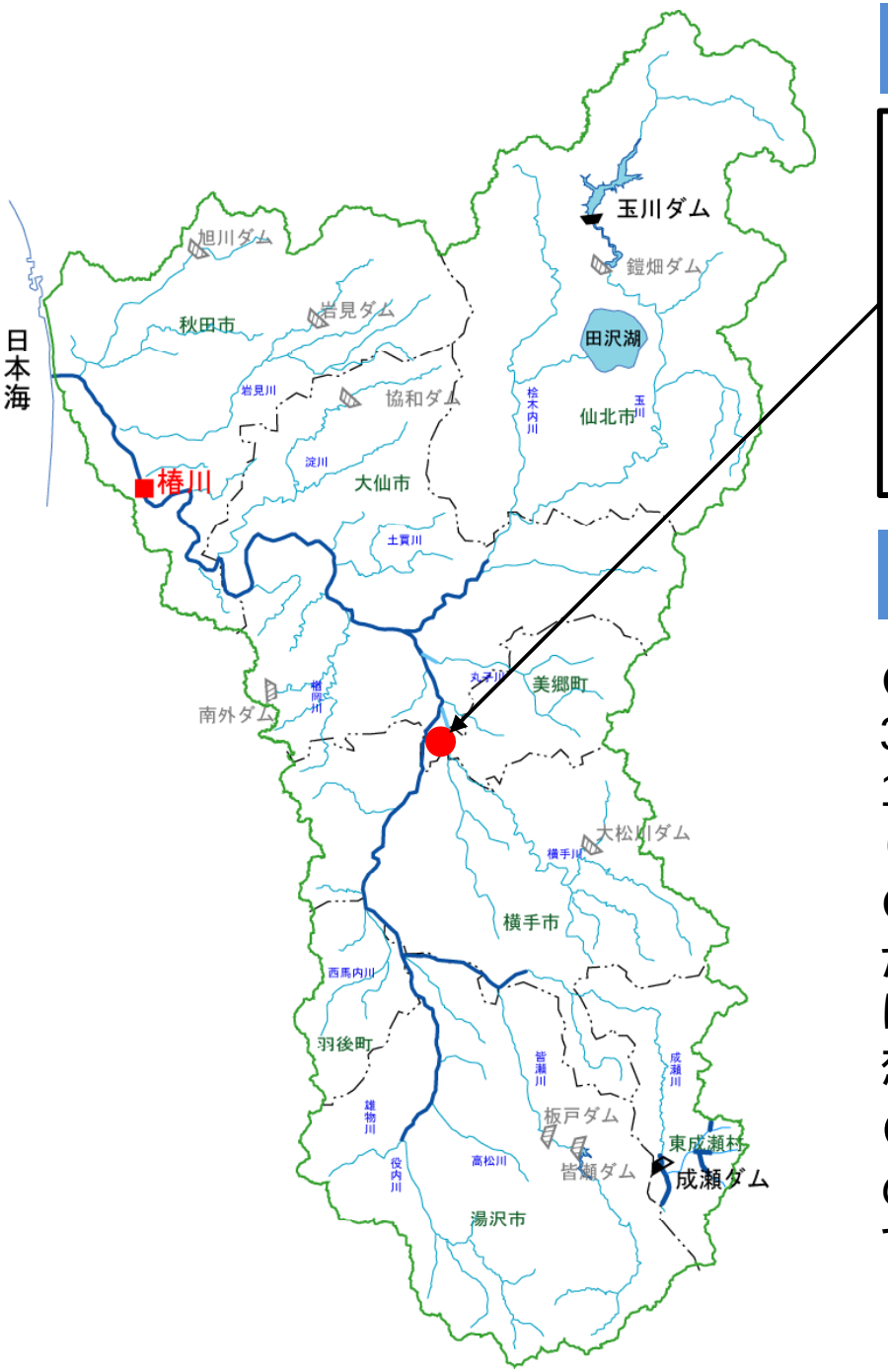
●排水ポンプ車（断続的に約15時間稼働）により、16,920㎥の内水を排水。（25mﾌﾟｰﾙ約47杯分に相当）

●仮に、排水が行われなかった場合、周辺の地区においては、約3haの浸水が発生したと想定されます。

●これからの梅雨期、台風期の洪水に対しても万全を期して参ります。



浸水被害軽減対策と効果④



大仙市角間川町地区

排水ﾎﾟﾝﾌﾟ車による排水活動

内水（宅地側にたまった水）を雄物川へ排水





（撮影日：7日）

排水活動による効果

●排水ポンプ車（連続的に約32時間稼働）により、117,000㎥の内水を排水。（25mﾌﾟｰﾙ約325杯分に相当）

●仮に、排水が行われなかった場合、周辺の地区においては約13haの浸水が発生したと想定されます。

●これからの梅雨期、台風期の洪水に対しても万全を期して参ります。



（参考）主な時系列等

災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	警戒体制	注意体制	解除
河川	7日 0:00	7日 3:40	―	―	7日 22:30	8日 20:50

洪水予報

河川	水位観測所	第１報	第２報	第３報	第４報	第５報
雄物川	雄物川橋（横手市）	7日 5:20	7日 6:20	7日 9:40	7日 13:00	7日 22:40
雄物川	大曲橋（大仙市）					
雄物川	神宮寺（大仙市）					

水防警報

河川	水位観測所	待機	準備	出動	解除
雄物川	雄物川橋（横手市）	7日 0:00	7日 2:00	7日 3:40	7日 22:30
雄物川	大曲橋（大仙市）	7日 0:00	7日 4:20	7日 5:40	7日 22:30
雄物川	神宮寺（大仙市）	7日 1:30	7日 7:30	7日 9:40	7日 22:30

河川巡視

河川	出張所名	巡視開始時間
雄物川	大曲管内	７日　５時３５分
雄物川	十文字管内	７日　３時５１分

河川管理施設の操作（樋管等）

河川	出張所名	ゲート全閉操作状況
雄物川	大曲管内	３３施設
雄物川	十文字管内	１１施設

河川巡視状況

●河川堤防や、護岸等の管理施設の被災確認や内水被害の把握など、洪水発生直後から、管内の河川巡視を行いました。
●洪水発生の際には、異状、変状の有無について状況把握を行っています。



（撮影日時：7日13:00）

流量観測状況

●水位・流量データ取得のための観測調査を5箇所で11回を行いました。
●洪水発生の際には、このような基礎調査を行っています。



（撮影日時：7日8:30）

本出水で対応した人員



事務所職員	23人
出張所職員	10人
河川巡視員	21人
流量観測業者	20人
工事対応業者	5人
樋管操作員	158人
延べ人数	237人